

# ともろう通信



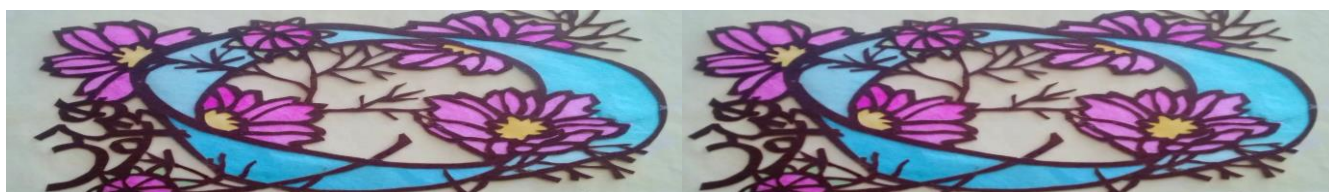
No.35 最終号

2024年9月発行

ともろう  
共朗生 — 共に朗らかに生きていきたい!

★ともろう通信は、NPO法人男女共同参画こしがやともろうの機関誌です。

事業：①男女共同参画の推進を担う人材養成事業②情報提供、調査研究事業  
③自立支援・相談事業④子どものための自立支援事業



## 「NPO法人男女共同参画こしがやともろう」解散にあたって

酷暑の夏から新涼の秋を迎え、気持ち良い季節になりましたが、いかがお過ごしでしょうか。

日頃より、当法人の運営にあたり皆様のご支援とご厚情を賜り深く感謝申し上げます。

さて、既にお知らせしましたようにNPO法人男女共同参画こしがやともろうの活動は10月の解散総会を持ちまして終了となります。従いまして、ともろう通信も最終号となります。

当法人は2008年（平成20年）11月28日（11月法人格を取得）男女共同参画社会を推進するために設立。皆様に支えていただき16年間活動をしてまいりました。

越谷市男女共同参画支援センターの指定管理者として3期13年間の運営の中で、様々な出来事がありました。特に、平成23年の東日本大震災では多くの方の協力を頂きともろうとしての支援が出来ました。令和元年はかつてないほどの東日本台風（台風第19号）による大雨、暴風、続いて令和2年より発生したコロナウイルスの拡大等、人命に関わる出来事では指定管理者と行政との綿密な打ち合わせ、また、市民の皆様のご理解・ご協力によりスムーズな対応が出来ました。

これもひとえに、会員の皆様の後ろ盾があつてのこと、永く支えていただきましたことに心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルスパンデミックを契機に社会は大きな変化を遂げつつあります。この変換期こそ男女共同参画センターは男女共同参画推進条例に沿って行政・市民の方たちと共に政策を進めていく大事な拠点施設です。

そこで、ともろうでは会を閉じるにあたって、ほっと越谷を運営してきたこともあり、会の最終事業として8月30日（金）に、ともろうカフェ「男女共同参画センターのこれからを語り合う～市民とともに～」を開催。NHK朝の連続ドラマ「虎に翼」が放映され、「はて？」をキーワードに現代につながる様々な問題提起がされていました。この「はて？」の問題意識をもって男女共同参画社会実現に向けて活動してきた方、これからを担う若い世代の方たちが地域や活動分野を超え集い語り合いました。これからの県の取り組みとして「ジェンダー主流化」という言葉もありました。今後の各男女共同参画センターをはじめ男女共同参画推進拠点が相互に連携し発展していくことを願いながら、ともろうカフェを閉じました。

最後に改めまして皆様のご健勝とご活躍をご祈念申し上げ、長い間支えていただきましたことにお礼を申し上げます。

令和6年9月 認定NPO法人男女共同参画こしがやともろう代表理事 駒崎美佐子

# 生きづらさを抱えた女性の支援事業「ゆったりカフェ」報告



9月 認定NPO 法人男女共同参画こしがやともろう理事 坂本雅子

ゆったりカフェは、月1度水曜日に開いて、女性参加で安心安全な中で、語り、聴き、対話をしました。

4つの約束 ①お互いを尊重する  
 ②相手の話をよく聴く  
 ③相手を非難しない  
 ④発言をしなくてもよい  
 基本ルール ・話し手はトーキングピースを持つ人のみ。  
 語り終わったら次の人に渡す。



2024年度は4月から8月、5回、行いました。

実施日	参加者数	カード	問い
2024.4.24	9名	写真: 日本列島/ お弁当/ 花火/ ラグビー観戦/ クラゲ など	好きなものを1枚選ぶ。何故、選んだか。
2024.5.22	6名	言葉: 拓く/ 出発/ 親切 /信頼 など	今の自分にとって大切な言葉。その理由。
2024.6.26	7名	イラスト(人の表情)	自分の今の気持ちを選ぶ 選んだ理由。
2024.7.24	5名	葉っぱの切り絵:リト作 「いつでも君のそばにいる 小さなちいさな優しい世界 葉っぱ切り絵コレクション」 (講談社)などに収められた動物たち など 	自分の好きな絵、自分の気持ちにぴったりの絵。選んだ切り絵の感想。
2024.8.21	7名	絵本「うえきばちです」川端誠作(BL出版)を坂本が読みました。  めができました(丸い顔に目だけの絵) はができました(丸い顔に目と歯の絵) はながさきました(丸い顔に目と歯と広がった鼻の絵)	感想、心に残ったこと。

## 参加者の感想

- ・皆さんの気持ちを聴いて元気が出ました。 ・いろいろなことを想像して、話がたくさんできました。
- ・葉っぱの絵をこんなに沢山見て嬉しい。 ・こどもの本にこんなものもあるんだぁ楽しい。

ゆったりカフェは新規団体「ミモザの樹」が引き継ぎ「ミモザカフェ」として開催します。

中心メンバーは、坂本雅子、島津美弥子、作部径子です。

変わらぬご支援をお願いします。

### ミモザカフェ (主催:ミモザの樹)

聴いたり話したりリラックスしながら過ごしませんか。女性だけの安心な居場所

9月25日(水) 13:30~15:00 (越谷市市民活動支援センター)

10月30日(水) 13:30~15:30 (越谷市中央市民会館5階)

11月20日(水) 13:30~15:30 (越谷市中央市民会館5階)

12月18日(水) 13:30~15:30 (越谷市中央市民会館5階)

参加費:100円 連絡先:090-8441-0284 (坂本)



## 出前講座報告

9月 認定NPO法人男女共同参画こしがやともろう 理事 坂本雅子

年月日	主催 場所	内 容	参加人数	担当理事
2024年 7/26(金)	大沢地区センター 人権講座	はつらつ学級~人権について考える~ 第1部 基本的人権とは 講師:坂本雅子(理事) 第2部 演奏と語り バイオリン:一丸公子さん。語り:坂本雅子	13人	坂本

### 第1部 基本的人権とは

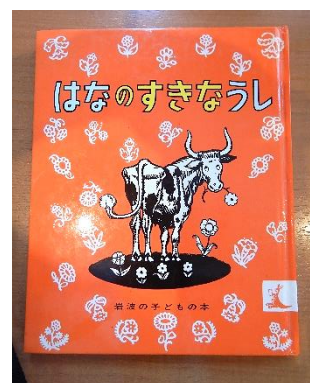
- ・様々な差別を考える(部落・LGBT・女性...etc)
- ・現実 新聞記事より
- ・人権意識は学びから~すりこみ・思い込み~

日本国憲法、新聞記事を読み、人権について考えました。

### 第2部 ♪ 演奏と語り

- ・「Ferdinand(フェルディナンド)」(邦名 はなのすきなうし)  
マンロー・リーフ作、ディダイト作曲

参考絵本「はなのすきなうし」作:マンロー・リーフ、絵:ロバート・ローソン、訳:光吉夏弥 (岩波書店)



語り ス페인のある牧場で暮らす牛のフェルディナンドは小さな頃から花が大好き。お母さんは、他の牛たちはマドリードの闘牛場で勇敢に闘うことを夢見ているのに、フェルディナンドは誰とも遊ばず、ひとりで花の匂いを一日中かいているのを「さびしくないかしら」と心配になりました。フェルディナンドに「おまえはさびしくないの」と聞くと「ぼくひとりで花の匂いをかいているのが好きなんです」と答えました。牛とはいえ良くもののわかったお母さんでしたのでフェルディナンドの好きなようにしておいてやりました。そんなある日、闘牛を探しに牛買ったちがやってきたときのこと。いつものように花の匂いを楽しんでいたフェルディナンドは偶然、お尻を蜂に刺されて大暴れ。この光景を見た牛買ったちは勇ましい牛を見つけたと大喜びし、フェルディナンドをマドリードの闘牛場へと連れて行きます。闘牛場の観客席には、芳しい花をつけた女の人がたくさんいました…。

### ・語り合いましょう

「Ferdinand(フェルディナンド)」をきき、「子どもの権利条約」を読み、感じたことを話し合い、その中で人権のこと、第1部で学んだことなどを話し合いました。

### (参加者感想)

- ・人権や差別などが学べた。
- ・初めて参加したこの講座は奇跡でした。  
小学校の時、先生が読んでくれた本で、大好きな先生と本です。
- ・あらためて憲法を読んで良かった。
- ・今、明るい青い空のような気持ちです。



## 出前講座報告

9月 認定NPO法人男女共同参画こしがやともろう理事 島津美弥子

年月日	主催 場所	内 容	参加人数	担当理事
2024.8.25(日) 13:00~15:10	春日部市男女共同参画推進 センター 「ハーモニー春日部」	「金子みすゞ」の映画上映と レクチャー 講師:小野由理 理事	63人 (女性 50人男性 13人)	島津、小野

### 感 想

- ・みすゞのことを書いた本や詩集は読み、持っているも改めて映画を見て詩のすばらしさに感動でした。講師の小野先生の資料、お話はとても参考になりいい時間でした。ありがとうございました。
- ・こんな時代の悲しいことがあって、今があるのだと思う。後退させてはいけません。
- ・本日の講座は参加して良かった。歴史的背景などきちんと解説があり、同時代の活躍していた作家等との比較がきちんとされており、映画鑑賞と相まって聴きごたえがあった
- ・名前は知ってましたが、生涯がよくわかりました。ぜひ本を読んでみます。
- ・みすゞが詩を書く事に夫以外は誰も止めない。家族にはめぐまれているのに結婚をさかいに人生ががらりとかわってしまう事にとてもくやしい気持ちになった。



映画上映会  
「みすゞ」  
みんながつてみんないない  
8月25日(日)  
13時開演 15時開演  
14時開演 15時開演  
16時開演 17時開演  
18時開演

◆ 会場 春日部市男女共同参画推進センター  
◆ 講師 小野由理さん  
◆ 参加費 無料  
◆ 定員 30人  
◆ 申し込み 8月3日(土)より電話・メール・来所にて  
◆ 申し込み先 春日部市男女共同参画推進センター

映画上映会「みすゞ」  
26歳で自死した童話作家「金子みすゞ」。  
短い生涯に書かれた作品と、その人物像に迫り  
女性が声を上げることができなかった  
時代背景と作品を振り返ります。

お問合せ・お申込み  
春日部市男女共同参画推進センター  
ハーモニー春日部  
〒344-0063 春日部市南町3-3-17  
tel.048-731-3333  
mail: harmony.kazokubo@machikatsu.co.jp  
hp: https://harmony.kazokubo-center.jp/  
開催時間 8:30~21:30 (12時~18時休館)

春日部市男女共同参画推進センター  
〒344-0063 春日部市南町3-3-17  
tel.048-731-3333  
mail: harmony.kazokubo@machikatsu.co.jp  
hp: https://harmony.kazokubo-center.jp/

## ともろうカフェ報告

9月 認定 NPO 法人男女共同参画こしがやともろう理事 山口洋子

日時・場所 2024年8月30日(金)13:30~15:30 越谷市市民活動支援センター 台風10号各地で大雨  
テーマ 「男女共同参画センターのこれからを語り合う~市民とともに~」  
参加者数 23人 参加費 無料

「女性活躍・男女共同参画の重点方針 2023(2023.6.13)」(注1)及び「女性活躍・男女共同参画の重点方針 2024(2024.6.11)」(注2)で独立行政法人国立女性教育会館(NWEC)(ヌエック)及び男女共同参画センターの機能強化が挙げられ、NWECの主管の内閣府への移管が取り上げられました。

男女共同参画センターの役割が注目されている今、「市民と共に課題を考える」というセンターの原点を踏まえて、様々な立場の方々とセンターのこれからを語り合いました。

埼玉県嵐山町にあるNWECについては、本カフェ企画後、7月30日、内閣府・文部科学省・国立女性教育会館連名の文書が出されました。文書要旨「NWECを機能強化して設立することを目指す新たな中核的組織(新法人)の主たる事務所は、引き続き、現在のNWECの所在地に存置する。老朽化した宿泊棟、研修棟、体育施設等の施設については令和12年度までを目途に撤去すべく、新法人設立後速やかに関連工事に着手することを目指す。」(注3)。

注1及び注2 女性活躍・男女共同参画の重点方針(女性版骨太の方針)

注3「独立行政法人国立女性教育会館機能強化による男女共同参画の中核的組織の整備に向けて」

- ・司会進行 島津理事、荒井理事
- ・挨拶 駒崎代表理事
- ・本日のカフェで語り合いたいこと  
青木玲子理事(コロナ感染で欠席のため山口代読)  
(9月10日、青木理事からメッセージあり(P11))
- ・参加者  
自己紹介・カフェに参加した理由・青木さんのコメントへの感想、フリートーク
- ・まとめ 小野理事
- ・閉会挨拶 坂本理事  
「ゆったりカフェ」と新規団体「ミモザの樹」について



駒崎



参加者から頂いたハーブ

## (本日のカフェで語り合いたいこと 青木玲子)(山口代読)

皆さん今日は、本日は天候の悪いところをお集りいただき、ありがとうございました。

みなさまに、お世話になりました「こしがやともろう」、NPO 法人としての最後の企画です。

既に、13年間の活動記録をまとめ、その後、男女共同参画センターの指定管理を離れて、私たちが大事にしていた自主事業、「ともろうカフェ」や「ゆったりカフェ」を続けてきました。

3年経って、NPO 法人を撤退することが具体的にになった時、丁度 NWEC の内閣府移管、男女共同参画センターの役割が注目されました。最後のシンポの企画を話し合う時、私たちが目指した「市民と行政をつなぐ」というセンターの原点を踏まえて、様々な立場の方々とセンターのこれからを語り合いたいと思いました。

本日、お集りいただいた方たちは、埼玉県の方も東京都の方もいらっしゃいますが、数年にわたり男女共同参画センターに関わっていらした方です。きっとどこかで、何かで何重にもつながっているネットワークが見えてくるのではないのでしょうか。

先日、WithYou さいたまの広報紙の特集「ジェンダー主流化って何ですか?」を読んで、私は涙が出るほど感激しました。涙の半分は今回の埼玉の政策に力を注いで亡くなった田中由美子(注 4)の思い出で、埼玉県男女共同参画推進センター「WithYou さいたま」に繋がる今はやりの長い列を思い出します。

今日は、WithYou の歴代のコーディネータが揃っています。平賀さん\*、(青木、)瀬山さん\*、そして現職薄井さん\*とバトンタッチしてきました。長い列もありますが、長い道もありまして、埼玉の男女共同参画センターが立ち上がるなら、民間のコーディネータ職と言う運動は、矢澤澄子さんなど埼玉の女性グループが、坂東眞理子副知事に要望書を出した経過があります。創立当時から行政の内田さん\*、平賀さんが初代民間からのコーディネータで、民間の力を発揮され、しかし今も続く男女共学化問題などにご苦労されたのでした。私は二代目でしたが、その時の職員、所長もいらしています。短い期間でしたが、よく専門員、職員と討論や話し合いがあり、私は、越谷の直営の時代も担当課の職員の方との交流、また条例の制定については、市議会の女性議員には本当に協働していただきました。\*写真 P8.9



車座になって

当時それが当たり前、と思っていたのですが、指定管理者制度になってその交流が途切れたような気がします。そして、あの時代こそ、「ジェンダーの主流化」に向かっていたのだと思います。其の後瀬山さん、薄井さんと続いて様々な新規事業を打ち出しているのはご承知の通りです。市民の方たちとの災害避難など柔軟な対応をして、まさしく、災害・防災・復興政策はジェンダー主流化を進める重要なターゲットとなっています。

越谷の市民グループの方たちも WithYou のフェスティバルやネットワークに参加、埼玉県各市のネットワークの活動もありました。行政、センター、市民の三者協働の活動も体験してきました。本日参加される皆さんの体験であり、経験知だと思います。共に力を合わせて来たのです。私たちの体験から、今日は、ぜひ未来のセンターも語りましょう。

男女平等社会にむけて男女共同参画センターが設立されて、40年以上、日本の男女共同参画センターは、社会における女性の困難さを良くサポートしてきたと思います。相談事業、学習事業、情報事業、交流事業、多くの実践事例やノウハウを積み重ねてきました。

ジェンダーバイアスは根強く社会に残りますが、一方で強い追い風がある今だからこそ、時代に合わせて事業を進化させて、理念を伝えるという、あらたな一步を踏み出せるのではないのでしょうか。「ジェンダーの主流化」を目指し、社会の仕組みを変える好機が訪れていると思います。「ジェンダー主流化」の実現については、長い間文言だけの主張でしたが、男女共同参画センターの長年の事業実践からのアウトカム、職員の経験知を市民の皆さんとの協働で、広く国や埼玉県、各市町村の男女共同参画政策提言に積極的に活かすことを期待したいと思います。

#### (参加者 自己紹介・カフェ参加理由・青木さんのコメントへの感想、フリートーク)

参加者一人ひとりから、それぞれの経験、活動から色々な思い・想いが話され、意見が出ました。

ここでは、発言の一部を要約させていただきました。

全容は、10月以降、ともろうのホームページでお伝えさせていただきますので、是非、お読みください





内田さん

平賀さん

島津 荒井



瀬山さん

- センターの講座を受講することは学ぶ目的が達成されるだけではない。講師の専門的知識とともに他の受講生の意見をきくことで理解が深まり、視野が広がり、交流することでつながりが出来る。
- 直接会うことの大切さ、意見交換の場の必要性を思う。
- 人のつながりが薄くなっている社会は危機を感じている。
- face to faceが大事。
- 市民が作った「ともろう」が指定管理者だった「ほっと越谷」は市民と近く、ここまで市民と協働しているところは無かった。
- 直接、人や物につながる場がなくなるのは、人の貧困につながる。
  
- 民間と行政が連携しないと何も起こらない。行政の原点だと思う。
- 男女共同参画はミリ単位で変わっていると思う。
- 男女共同参画は進んでいると思う。今、セクハラで地位を失う。
- 個人は尊重されることが大事。男女の能力は同じ。
- 県立高校の男女別学はやめた方が良い。



- ヌエックでは研修後、各地からの参加者と語り明かしたりもした。宿泊施設があればこそ出来る。
- コミュニケーションが薄い時代になって。ヌエックの宿泊は残してほしい。
- 対面で顔を繋げる場があると良い。そこから色々な人が繋がるということが良い。ヌエックが全国の人をつなぐ場であってほしい。オンラインだけではないことが大事。
- 全国行政の男女の所管職員の学びをきちんとすること。それで次の問題が見えてくる。職員の教育をきちんとしてほしい。
- ヌエックのオンライン研修では各地方とつながって良かったと思うが、対面で話すことでつながることが地域連携になると思う。
- ヌエックの防災の研修で病院関係や自治体が参加し情報交換が役立ったときく。
- 県のジェンダーの主流化は県内大学にも影響していると思う。男女センターに関心のある人が高齢化している。若い人の居場所としてセンターがあるといい。若い起業家も含めて市民グループなど、そういう人がセンターの担い手になれる道をつくる。埼玉はヌエックもあり県センターもあり、特徴があるので、もっとやれることがあると思う。
- ヌエックの問題が WithYou さいたまにも当てはまる。自治体のリーダーにジェンダーを考えて貰うことが大事。
- センター職員が低賃金で働いているのはむなしい。

#### ○「埼玉県のジェンダー主流化」について

薄井さんからは、埼玉県のジェンダー主流化についても、

WithYouさいたまの広報紙をもとにお話し頂きました。

(注 4 県はジェンダー主流化を進めるにあたって独立行政法人国際協力機構(JICA)の田中由美子さんにアドバイザーとして協力を得た。)



薄井さん

#### (まとめ 小野理事)

ご参加の皆様のご意見から、コロナ禍を経て、対面の大切さを実感したということが多かったかと思います。この場も、皆様と顔を合わせ、声を聴きながらこの場を共有することこそ、私にとっても宝物になりました。ヌエックの今後や埼玉県のジェンダー主流化の行方も気になります。今後もお話できる場を作っていければと思います。



小野

#### (閉会挨拶、「ゆったりカフェ」と新規団体「ミモザの樹」について 坂本理事)

「ゆったりカフェ」については、島津と坂本と作部による新規団体「ミモザの樹」が引き継ぎ、「ミモザカフェ」として開催します。

安心・安全な居場所を目指してまいります。



坂本



### (参加者アンケート)

- 来て良かったです。埼玉のジェンダー政策をすすめてこられたレジェンドのような方々が勢ぞろいされていたので本当にびっくりしました。こんな機会、最初で最後だと思いました。  
”ほっと越谷”の担い手が変わり、時代が変わり…という中で、今日伺った話や、皆さんの想いを微力かもしれませんが忘れることなく伝えていきたいと思いました。また、ヌエックのことについては、皆さんが口々に、対面の良さについて話してらっしゃったことも印象的でした。
- ヌエックの宿泊施設についての話を聞き、その施設を残すことの大切さがよく分かりました。人権を尊重する社会を築くためには、一人一人の意識がとても大切であると思います。直接顔を合わせて交流し、人の声に耳を傾け、違いを乗り越えて理解し合うところに、人権尊重の社会は実現すると思います。
- 20 数年前、娘一家が名古屋に転勤しました。宿舎から歩けるところに市の男女共同参画施設があり子供づれで出かけられて、どんなに助かったことか。絶対に必要な施設です。これからは半身になってしまった高齢女性のために必要な場所であってほしいと思います。
- 懐かしいみなさんと顔を合わせ男女平等のこれまでとこれからを自由に話し合う機会がうしなわれてしまうことがとても残念です。これまでの活動、おつかれさまでした。これからの個々の人間活動にも期待しています。いつまでもお元気で。
- 「こしがやともろう」の最後の事業である「ともろうカフェ」に参加出来て良かったです。それぞれの自己紹介で話された内容が大変興味深かったです。これまでの歩み、歴史をあらためて知り、今日にいたるまでの成果を確認できました。「これからの…」について もっとお話がききたかったです。

- 皆様のずっと変わらない男女共同参画への熱い思いにふれて感動しました。男女共同参画の理念がそれぞれの生き方の基礎になって、さらに男女共同参画の理念がこれからもっともっと広まってほしいとおもいました。
- 初めてで最後の参加になりました。男女共同参画設立にかかわってこられた方々の考えに情熱をひしひしと感じました。人と人とのつながり(face to face)が大切であることは共通です。基本的考え方を学び、経験をつむことが大切であると思いました。"ヌエック"もっとガンバッテください。
- 男女共同参画に必要な施設なので 国、県、市町村(地方自治体)、それぞれの大きさを活動出来た場所を市民が気負わずに足を運べる場として存在しつづけて欲しい。またそこに配置された職員の人達が男女平等の学びを常にアップデートできる環境を作る必要があると思う。業務が忙しくて自分自身が学べないというのはいらない。



**(青木理事から 2024.9.10)**

私は、突然のコロナ感染で、越谷ともろう最後の心待ちしていたシンポに出席できなくなり、一生悔し涙に暮れると思いました。しかし、台風にもめげずお誘いした多くの参加者の方の写真と記録をともろうのメンバーがすぐに送ってくれました。その集合写真を見た途端に、私の涙は吹っ飛んで、何があっても

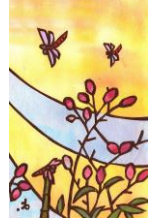


いつも確実に会の運営を粛々と運んでくれる仲間たち、そしてこのシンポ参加者の皆さん、「強者ものたち」、女性センターの創設期から様々な立場でセンターを支え、大災害に遭遇してふるさとを守り、埼玉にあって被災者の皆さんを今も援助している皆さん、少し年を取られた?、いやいやこの幾年月のお一人お一人のお仕事の重みが伝わってきました。

今、傍ら北京会議から 30 年となる来年の国連女性の地位委員会に提出する NGO レポートの編集が JAWW(日本女性監視機構)で進められています。12 項目の北京行動綱領から、30 項目の課題と進捗状況が提案されています。これは単なる国連に提出するレポートではなく、国内の行動計画の進捗、ジェンダー主流化に関わる課題です。

皆さんの提案の中に、人と人をつなぐ場、話し合いの場が必要とありました。NWEC 然り、男女共同参画センターは、市民に場を提供し、また話し合いの多様なネットワークをつないで、ぜひ NGO レポートの課題を市民と討論して欲しいと思います。行政職員の学びの必要性の話がありましたが、まさしく、センターで市民との対話の中から、行政職員の学びは始まるのではないかと思います。NWEC においてはさらに行政職員の実質的な学びを進めてもらいたいものです。

涙ではなく、熱い思いを取り戻し、またお逢い出来る機会がありますようにと切に願っています。



# こしがやともろうからのお知らせ

## 解 散 総 会

日 時 10月23日（水）午後

会 場 越谷市中央市民会館

詳細は追ってご案内いたします

## ミモザカフェ

ゆったりカフェは新規団体「ミモザの樹」が引き継ぎ「ミモザカフェ」として開催します。  
中心メンバーは、坂本雅子、島津美弥子、作部径子です。  
変わらぬご支援をお願いします。

聴いたり話したりリラックスしながら過ごしませんか。  
女性だけの安心な居場所

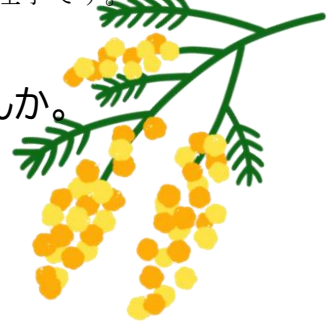
2024年9月25日（水）13：30～15：00

場 所：越谷市市民活動支援センター

主 催：ミモザの樹

参加費：100円

連絡先：090-8441-0284（坂本）



10月30日（水）13：30～15：30 は越谷市中央市民会館 5階 です。

11月20日（水）13：30～15：30 （越谷市中央市民会館5階）

12月18日（水）13：30～15：30 （越谷市中央市民会館5階）

（ 発 行 ・ お 問 い 合 わ せ ）

認定特定非営利活動法人男女共同参画こしがやともろう

〒343-0026 埼玉県越谷市北越谷 2-21-8

電話

080-3246-3540

Eメール

[koshigayatomorou.npofarenn@gmail.com](mailto:koshigayatomorou.npofarenn@gmail.com)

ウェブサイト

<https://koshigaya-tomorou.or.jp> 2025年3月31日まで